とかち新聞
主筆　松山明
（発行所）郵便番号089－37　北海道足寄町　とかち新聞社
毎月25日発行　購読料　一カ月200円　一カ年前納2,000円

# 春のコンサートはじまる

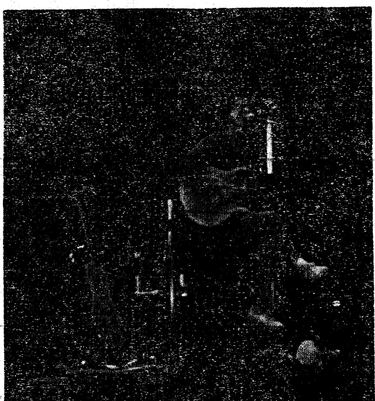
　松山千春の春のコンサート・ツアー「魂、燃やす時」は、三月十三日に北海道厚生年金会館を皮切りにスタートしました。

　この日の札幌市内は二日前からのドカ雪で交通渋滞にもかかわらず、二千三百名収容の会場は超満員で、定刻の午後六時三十分に開幕とともに舞台中央奥で千春が深く一礼して姿を見せるや「チハル、チハル」の叫声で会場が割れんばかりのなかで、千春が前へすすんでギターを手にしてオープニングは「恋」。ドライアイスの白い煙りがステージをはうように噴出するなかにスポットライトが千春を浮き立させていました。

（早くから会場へつめかける聴衆の行列）

　歌い終つて『ありがとう松山でございます。今回はチケツト売り出すとき、吹雪だつたりして、本当にみんな根性でどうもありがとうございます。あとはですね、オレが一段と成熟した男の魅力をどこまで出していけるか、これがひとつの課題だと思つたりするんですが、十二月からずうつとコンサートがなかつたので多少あがつたりして意外にナイーブだつたりして、今夜は楽しくやりたいと思いますので、最後までよろしく哀愁！』

　つづいて「ないで僕のそばに」を歌つて、手拍子と大きな声援に対して『とうもありがとう、お前らチケツ　手に入れたら発声練習してたべ（笑声）オレより声が透るんでないか、しかし久しぶりになかなか心地よい会場で、全国をコンサートでまわつてきましたけど、どこがどうといつたつて札幌か一番（拍手）いやいやどこでも同じこといつてるんだから（笑声）寂しかつたりなんかして、でも本当に下の方にも沢山いて、上の方にもね沢山聞いてくれたりして　頼むからみんな落ちないでくれよ、コンサートなかつたのでLPを作つてたりして五月五日に発売予定ですが（拍手）イヤイヤ悪いなあ催促したみたいで「浪漫」（ロマン）というシビアなLPだつたりするわけです仕事がなかつたから足寄に引つ込んでたべや、もりあがつてるんだけどいまひとつ寂しい雰囲気があるべやそんなかでオレはずうつと考えたりして、たまにラジオの仕事で札幌なんかに出てくると、夜、飲みにいつたりするはなあ、ススキノへいくは、そうするとネオンがパアーッと明るい、まぶしくて目がつぶれそうになる（笑声）足寄なんか寂しいぞ、繁華街なんか懐中電灯をもつていかなければならない（笑声）それくらいの差がある、たまにススキノを歩いていると女の子が、アラツ千春じゃない、いつたりなんかして（笑声）そしてみんな見てごらん千春が歩いている（笑声）オレだつて歩くぞ、どういう意味だかわかんかつたりして、そんななかで久しぶりのコンサートをやらせてもらつて今日は新しい歌から古い歌をいろいろ歌います』



　ついで「初恋」を歌つて『まあ愛を歌つて二十四年こんなバカなことばかりいつて本当に変りないですねオレはコンサートをはじめてから四年目、はじめて有料コンサートをひらいたのは五十一年八月八日にこの厚生年金会館大ホールで、ちようど有珠山の噴火でそれを知らないで歌つてたりして、帰りは真つ白だつたりしてな、今回は吹雪でどうなるかと思つたぞ、足寄の方はなんでもなかつた、心配で外崎に電話した、ソツチ大丈夫か、コンサートできるか、冷静で冷たい、大丈夫だチケツト売り切れだから（笑声）』

　こんどは「銀の雨」を歌うと、ステージいつぱいに雨の照明でもりあげたあと『懐しいような気がする、この歌を歌つてたころはああこんなことがあつたとか（ここで男子の声援）たまに男の声が聞えたりして（笑声）コンサートをやつてて男の声が聞えるほど安心するものはなかつたりして、不思議な性格だなと思います、新しい歌を歌います』

　五月に発売のLPからの「ひとりじめ」を歌うと例によつて「チハル、チハル」の声援がさかん、これに応酬した形で『つくづく悩むこともあつたけど　ハゲなんてまだまださだまさしとアリスのチンペイ（笑声）この二人が存するかぎりなんでもない思つたりして、悪いけどな愛を歌つて三十年、ハゲてよ、腹が出てきてよ、歯まで抜けたら（笑声）やつてられないな、君たちもドンドン恋愛をしてもらいたいオレも一応男だからいろんな女とめぐり合つてきた、いい女もいた、こんなブサイな男だがなにかうしろめたい気がする、幸せにしてあげられなかつたこと、それと最後までそばにいてあげられなかつたこと、それが心残りになります、だけどオレは真剣に精一杯愛してきたつもりです、恋愛というものは悲しいです、多分みんなもいろいろなことがあると思う、そして希望をもつたり絶望したりうしろめたさをもつたり……』

　ここで新曲「春の足音」を歌つて意外に短かい三十分の一部の幕がおりました。

　十分間の休憩があつて、二部は軽快な「MY自転車」ではじまり　歌うなかで本物の自転車を二人がステージを乗りまわすというコミカルな場面もあつて会場がわいたところで千春は『結婚したばかりの沢山さんと外崎もスゴイ自信をもつて…こんどコンサートやるときはなにかやつてみないかつていつたら自転車に乗つてみたりして、オレ大きな自転車でくると思つたの（笑声）子供の自転車でよくやるな、春のコンサート四十二カ所あるけどソツチ四十二回もやるんだここでお知らせしとくけどついにみんなの期待に応えて結婚でないぞ（笑声）車の免許をとりました（拍手）横山君もとりました（拍手）実地の外崎、学科の横山、二人とも落ちたらどうしようかと思つた』

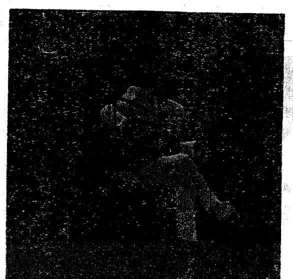
　つぎに「僕の好きな風景」を歌い『オレも名門足寄高校、たいしたことないが高校を卒業してから六年、高校時代よかつたなあ、学校祭すばらしかつたぞ、全校生徒もりあがつていて、オレは…よくあるベフォーク同好会　ギター持つていくとお前やれつていわれてその気になつて、おだてられて歌つた、チヨツとやつてみるか

あなた故に狂おしく
　乱れた私のこころよ
私はあなたの
　愛のドレイ
（シバの女王）

ナンチヤツたりして（笑声）信じられないだろう（カツコイイとの声　バカなことをいうな　本当にあのころが懐しい、こんな歌覚えているかな

過ぎた日の微笑みを
　みんなあなたにあげる
あの日知らない人と
　今はそばに眠る
暖い昼下り
　通り過ぎる雨に
ぬれることを
　夢に見るよ
風に吹かれて
（サヨナラをするために）

ナンチヤツて（笑声）学校祭を思い出すね、いろいろやつてたけど阿部寿美雄つてのがいるんだ、オレの友達だけど学校祭でブラスバンドやるというんだ、幸弘らと応援にいつたが、寿美雄どこにいるかわからない、寿美雄ガンバレ、格好よくやれよ、そのうちおわりかけたらバシーとシンバル（笑声）出てきたらバシーだけだぞ、なにが演奏会だ、こんな思い出もあるわけです』



　ついで「良生ちやんとポプラ並木」にうつると、背景が並木を表現した照明で雰囲気を出し、

　つづいて「卒業」を歌つて『良生ちやんとポプラ並木を聞いてもらいましたが春はあで秋までは大丈夫だが、秋はあとなるとチヨツと下りですよね、冬はあもうダメかな（笑声）卒業、オレは名門足寄高校を卒業したが北見へ運　転免許をとつてオヤジの仕事を手伝うために一年バイトしたバーテンやつたり料理番、板前、いつたら格好いいが単なる皿洗い（笑声）そのときはじめて手にも水虫が―できるんだ、顔にできたら信じられなかつた、手にもなあ（笑声）足しかないと思つたから―インキンはどうなるだろう（笑声）真剣に考えたな、あんなもの顔にできたら大変だからな、北海道の人達は私をふくめて山師根性があります、わかるか　山師根性　一獲千金を夢みる、そんな感じがするなにかやつてやろう、なにかやつてやろうと―そんな感じがする、そんな期待に応えてこんど歌うことで、みんなも知つているように竹田さんにいろいろお世話になつて、ガキのころからのあこがれだつたフォーク界に、フォーク界だぞ、フォーク界に入つてレコードを出しました、「旅立ち」を、みんなが応援してくれたことによつて北海道でデビューした、笑つてるだろう、北海道だけだぞ最初は信じられなかつたりして、ところがあこがれて入つたフォーク界は、フォークなんてどこにもないんだよ、目に見えるのは芸能界だ、あこがれたフォークはどこにあるのか、一生県命に探した　そんなときに清須さん、加川さんに出合い、やつとフォークソングみたいなものを感じた、じやオレたち三人だけでもいいからこんなフォークを大切にしようと、その結果ニューズレコード会社を作ることになりました』（以下次号へ）

## またオールナイトに出演へ！

　昨年の三月二十七日の放送を最後に、ニッポン放送のオールナイト・ニッポンを降りた千春は、全国のファンからの根強いご要望によつて四月からふたたび登場することになりました。

　時間帯は毎週火曜日の深夜、つまり水曜日の午前一時から二時間の予定です。なお「今夜はきめよう」は従来どおりで、毎週二回電波を通じてお耳にかかることになります。

## ニュースを斬る

◆…このごろは毎朝の新聞をみても、テレビ・ラジオを聴視しても、まずトツプニュースは汚駈事件のオンパレード。

◆…これでもか、これでもかといつた形でくりひろげられる日本のみにくい現状に対して、国民はもうあきれ返つてしまつて感覚がマヒしているのではないでしようか。

◆…はじめは単なる税関での密輸事件とみられていたKDD（国際電信電話会社）の問題は、監督官庁である郵政省幹部への贈収賄事件に発展していることで警察の手が入るまで、おくつた方ももらつた側も知らん顔をしていたことが問題で、たまたま密輸事件を調べているうちに浮びあがつてきたようで、どこの役所でもやつていることがそのほんの一部が摘発された運の悪いできごとなのかもしれません。

### 金がものをいうニッポン

◆…早稲田大学商学部の入試問題の模範回答漏えい事件にしても、一千万円もの大金を出してもカンニングして入学させたい親ごころは、これも〃氷山の一角〃で、ほかでもやつているのも見つからないだけなのかもしれません。

◆…金がものをいうニツポンの最大のシンボルは総理大臣の犯罪を引きおこした田中角栄被告で、五億円のワイロはワイロではなく政治献金だという構えで目下裁判中ですが、政治献金であれば政治資金規正法にもとずく届け出をしていなければならないのにそれをしていないので、どちらにしても有罪は免れない人物。

◆…この田中被告が率いる田中軍団が現在の大平自民党政権を支えているので〃角影内閣〃といわれており、当然に金権・腐敗の体質を継承したものといえましよう。

◆…もともと資本主義社会というのは金がものをいう社会体制であつて、地獄の沙汰も金しだいということで、金力が権力に結びつく最短距離となつていて、総理大臣の地位そのものが大きな派閥に乗つかつて金で構築されるようなもので人物とか政策とかにかかわらず最高の権力である総理大臣が〃製造〃されていくこんな政治をとりかえていかなければなりません。